

第4章 海外研修の实地研究

1節 2012年度の実践と振り返り

震災の影響で転出する生徒や、中学卒業（本校では「修了」と呼ぶ）後に他県に転居した者、進路変更で他高校に進学したり転コースしたりした者が多く、中高一貫コースとして特別進学コースに進級した者は11人とどまった。第1回目の海外研修に参加したのはこの11名である。

事前学習

最初にプロジェクトのテーマを定めるのだが、アメリカについて具体的なイメージを持っている生徒は少ない。そこで最初に、過去の語学研修の写真をスライドで見せ一行き先は同じなので、イメージアップを図った。次に「私とアメリカ」というテーマで個人ウェビングをさせ、プロジェクトのテーマを考えさせた。

ウェビングでおおよそ関心のある事柄がいくつか出たところで、ウェビングの結果を発表させた。ここでは、食や生活習慣など日米の違いに関するもの、食生活と健康・病気に関するもの、自然や環境問題に関するもの、麻薬や格差や差別など社会問題に関するもの、文学や音楽など文化に関するものがあった。この段階では日米の生活や考え方の違いに関するものが多かったため、関連するテーマの者どうしを合わせてゆるやかなグループを作り、事前調査とともにプロジェクトの企画書づくりに取り組ませた。企画書作りにあたっては、特にプロジェクトの意義を明確にすることと、仮説を立てさせることに力点を置いて指導した。

事前学習が進んで一人ひとりのテーマと問題関心が明らかになるにつれて、各人の違いもまたはっきりしてきたため、実際にはほとんど個人プロジェクトとなっていた。

さて、海外研修ともなると事前にしなければならないことも多くなる。例えばパスポートを取得したり、海外旅行保険に加入したりすることもPBLとは別に必要である。また、現地受け入れのスタッフに自己紹介のメールを送り、自分が取り組んでいるプロジェクトのテーマを伝えることもしなければならない。後述のように、アメリカでの講義のトピックは生徒たちのプロジェクト・テーマを考慮して選択されたからである。さらに、現地でインタビューするときの質問項目を用意する必要がある。これらは英語で準備することが必要になるため、総合学習の授業は手一杯の状態であった。

付言すれば、生徒たちのプロジェクト・テーマによって、現地でのアクティビティを用意してもらうため、担当教員にとっては現地とのやり取りに多くの時間を割かなければならなかった。

最終的に、生徒たちが取り組んだテーマは次のとおりである。

- ・アメリカにおける農業と文化

Agriculture and Food Culture in America

- ・アメリカと日本における自然及び自然災害について

About Nature and Natural Disasters in America and Japan

- ・アメリカ社会における音楽

Music in American Society

- ・アメリカにおける食糧事情

The Food Situation in America

- ・アメリカ人の食生活と病気

The Eating Habits of the American People and Disease

- ・アメリカと日本にある差別について

About the Discrimination Lying in America and Japan

- ・薬物について

About Drugs

- ・アメリカの本と日本の本の違い

Difference between American Books and Japanese Ones

- ・アメリカ、ドイツ、日本における原発事情

The Situation of the Nuclear Electric Power Generation in America, Germany and Japan

- ・アメリカ人と日本人の違いは何か

What is the Difference between Americans and Japanese?

- ・アメリカと日本における食糧事情の違い

The Difference of the Food Culture in America and Japan

海外研修実施

海外研修のスケジュールの全体は次ページに示すが、週日は基本的に実用的英語とアメリカ文化に関する講義を午前に行い、午後はさまざまなアクティビティを行う。夜は講義で出された課題等の学習とクラス・ミーティングを行う。課題は多くの場合、一定以上の語数を用いた長めの英作文や、文化に関するプレゼンテーションなどであった。生徒たちの英語力の問題もあって、課題をこなすのに相当な時間を要し、しばしば深夜まで机に向かって学習する姿が見られた。

各自のプロジェクトにおけるインタビューは、講義やアクティビティの最中または合間に行われる。実際には各テーマの専門家に質問できる機会はなく、「そのことについてどう考えるか」という質問を、お世話になっている方や出会った人にできるだけ数多く聞いていく、ということになる。もちろん各アクティビティはできるだけ生徒のプロジェクトに沿って設けられているので、実際に取り組んでいる人に直接インタビューできる機会もあった。

探究の進み具合や課題になっていることは、クラス・ミーティングでのスピーチで共有した。海外に来ているため、思うように英会話ができず自信を失ったり、調子を崩したりする者もいたが、ホームルーム委員の働きかけやクラスでの話し合いによって、皆で助け合いながら目標を目指して進むことができた。後で述べるように、アンケートにおけるクラス・ミーティングの「協働」のスコアが高くなったのは、この事情によると思われる。



写真8 アメリカ文化の講義(左) 有機農業を行う農園の見学(中) 夜の学習時間(右)

UM Food Zoo Meals: Breakfast: 7:00 - 8:30 Lunch: 11:30 - 1:00 Dinner: 5:00 - 6:30

Daily Schedule Note: Before all activities meet in the Knowles Hall Lobby.

DAY	MORNING	AFTERNOON
Day 1: Saturday, July 7		Arrive in Missoula 5:05pm, check into dorm and have a light meal
Day 2: Sunday, July 8	UM Orientation and campus tour 9:30 ~ 11:00	Welcome Dinner Party at Carino's Italian Restaurant 5:45 - 8:00
Day 3: Monday, July 9	Class	Campus Life: optional swim, basketball, tennis, University Center
Day 4: Tuesday, July 10	Class	Schools Tour: College of Technology & Public Schools 1:15 - 3:30. Rockin' Rudy's and Southgate Mall shopping and Dinner at Noodle Express 3:30 - 6:30.
Day 5: Wednesday, July 11	Class	City Tour: Fire & Police Stations, Court House 2:15 - 5:30. Dinner at Blue Bison Grill - Bison Burgers 5:45 - 7:00.
Day 6: Thursday, July 12	Class	Fort Missoula Tour 1:15 - 3:00. Downtown Dinner Festival and Carousel Rides at Caras Park 5:45 - 8:00.
Day 7: Friday, July 13	Class	Climb the "M" Mountain and watch the sunset 8:30 - 9:30.
Day 8: Saturday, July 14	Farmers Market 9:30 - 11:00	Splash Montana Water Park 2:00 - 4:00.
Day 9: Sunday, July 15	Campus Life	Visit Mission Church & Flathead Lake Boat, jet ski, BBQ dinner 1:30 - 9:30.
Day 10: Monday, July 16	Class	Dance Party and Dinner at Bonner School 6:15 - 9:00.
Day 11: Tuesday, July 17	Class	Visit the Springs Senior Residence 1:45 - 3:30. Watch an Osprey baseball game 6:30 - 8:30.
Day 12: Wednesday, July 18	Class	Garden City Harvest Community Farm - Tour and Volunteer for Veggies 1:30 - 3:30. Shop at Super Walmart 3:45 - 5:15.
Day 13: Thursday, July 19	Class	Visit Children at the International School 1:45 - 3:00 Rock Climbing 3:15 - 4:30.
Day 14: Friday, July 20	Class	Farewell Dinner Party China Garden and Turner Hall 5:45 - 8:30.
Day 15: Saturday, July 21	Airport	Fly back to Japan - 4:30am load luggage and depart for airport at 4:45 am. Flight departs at 6:00am.
Day 16: Sunday, July 22		Arrive in Japan

ここで、スケジュール表にある class について一言述べておきたい。実用的英語とアメリカ文化のいずれも非常によく考えられ、練られた講義であった。また、われわれ引率者に対し、二人のアメリカ人講師が行う講義のシラバスが示され、これらについての意見を求められた。実際に講義が進められる間にも、われわれと講師陣の間で若干のディスカッションを行うことができた。このようなやりとりは、われわれが文化学習を組み立てる上で大いに参考になったばかりでなく、彼らにとってもトピックの選び方や扱い方について何らかのプラスになる点があったのではないかと感じている。

ところで、国内でのプロジェクト・キャンプとは異なり、語学力の問題と安全な生徒把握の問題上、チームごとに分かれての研修をすることができない。またミズーラ自体は比較的小さな町であるが、土地が広大であるため、移動手段は自動車に頼らざるを得ない。そうすると、どうしても全体でまとまって行動することになる。共通した訪問先において、それぞれの問題関心に基づいて質問やインタビューを行うことになる。

このため、後述するように、アンケートでは「段取り力」「計画実行力」などのスコアが低く出る傾向がみられた。

事後のまとめ

帰国後、生徒たちは事前調査と海外研修での学びを総合し、先行研究も踏まえてレポートにまとめる「主題研究」に取り組んでいる。海外研修を引率した担任（佐藤信義）と中高一貫コース主任（佐々木達也）が、実証的なレポートの構成や適切な文章で表現する方法等について指導している。総合学習では十分に時間を確保することができないので、放課後の課外講習後に毎週一定の時間をとって作業を進めた。

最初の予定では12月末までにほぼレポートを完成させることにしていたが、遅れて2月中旬までに終え、3月上旬に発表会を行った。優れた研究は中学生に対するプレゼンを行い、一貫コースのメリットを最大限に生かせるように計画している。